

序

地区津波防災の目的は、津波の脅威から地区住民の命を守り、安全な生活を確保することです。主役は、国でも地方行政機関でもありません。あくまでも当事者である地区の住民です。本書の目的は、地区住民の皆さんが自分たちの手で地区津波防災対策計画をつくるのをお手伝いすることです。本書を参考に、自分たちの地区の津波防災計画を自分たちでつくることに挑戦してみませんか？

皆さんが、市町村担当職員の協力を得ながら、従来の地区津波防災対策計画を見直すとき、あるいは地区津波防災対策計画を新たにつくるときに、何をどのように話し合うのか、防潮堤や津波避難訓練などに限定することなく、いろいろな津波防災対策の中から地区の自然・社会・経済の実情と将来計画に合った対策をどのように評価し、選択・実践するのかを、考えてみませんか？ また、皆さんがつくった地区津波防災対策計画が実情に合わなくなったときに、どのように更新したらよいのかを考えてみませんか？

南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による巨大津波、日本海の大規模地震による大津波の来襲が予想されている沿岸各地区では、それらに備えて、津波防災対策計画をつくるのが急務となっています。東日本大震災後の混乱を教訓にして、2014年3月に「地区防災計画ガイドライン」が内閣府から公表されています。また、2018年4月には、「津波防災地域づくり推進計画作成ガイドライン」が国土交通省から公表されています。私たちは、これらの「ガイドライン」とは別の視点から、豊富な例と合わせて、出来るだけ分かり易い内容にすることを目指して本書をつくりました。

地区住民の皆さんが、本書を参考にして日常的に話し合いを続けることによって、津波災害のリスクに対する認識・理解を深め、地区の津波防災力が高まることを願っています。また、津波防災担当地域行政職員と地区住民の皆さんとの間の連携が強化されることを願っています。

2023年5月16日

国際津波防災学会

津波防災対策検討分科会